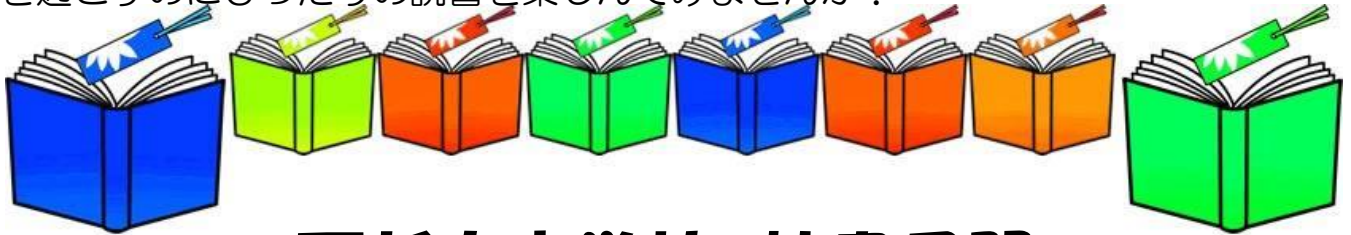


図書館かわら版

秋の巻

読書の秋になりました！

1年で一番過ごしやすい季節がやってきました。虫の声を聴きながら、長い夜を過ごすのにぴったりの読書を楽しんでみませんか？



西新宿中学校 読書月間

11月と12月は西新宿中学校の読書月間です。

毎月展示しているテーマ展示や新聞コーナーの関連本の展示に加えて、**図書委員会からのおすすめの本**がポップ付きで展示されます。この期間にたくさん本を読んだ人には、特製しおりのプレゼントもあります。みなさんのご来館をお待ちしています！



秋の夜長にミステリー

ただいま展示中！

● 「入門百科+日本ふしぎ大発見！ミステリー探検」

山口直樹監修

つちのこ、カップ、鬼、人魚などの見たことない生き物、聖徳太子の地球儀や海底遺跡など、日本全国から集めたミステリーの数々を写真やイラストを使って紹介します。不思議なものが大好きな人におすすめです。

● 「ステップファーザー・ステップ」 宮部みゆき作

中学1年生の双子の兄弟と、ひょんなことから彼らの父親代わりすることになったプロの泥棒。そんな3人を巻き込んで次々と事件や不思議な出来事が起こります。

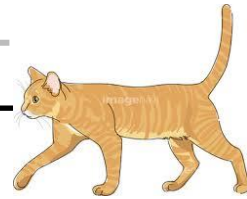
読書の秋

に読んでほしい！
おすすめの本



「クロニクル 千古の闇」 シリーズ全6巻
ミッシェル・パイヴァー作 さくまゆみこ訳 酒井駒子画

6000年前、12歳のトクラは突然父さんを亡くします。ひとりでぼっちで途方に暮れるトクラは、家族を失った子どものオオカミと出会います。そしてこの出会いから長い物語が始まります。人間と動物や植物、自然現象の区別が現代ほどはっきりしていない時代を舞台に「生きる」とはこういうことだと教えてくれるようなイ

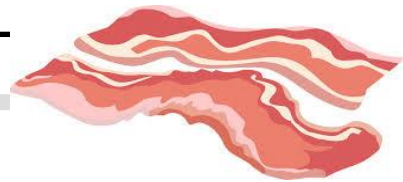


「かのこちゃんとマドレーヌ夫人」
万城目学作

ゲリラ豪雨が襲った日、小学校1年生のかのこちゃんの家の柴犬の犬小屋に茶トラの猫が迷い込んできた！外国語（犬語）を話す優雅な猫、マドレーヌ夫人とかのこちゃん、そして柴犬、玄三郎の毎日は思いがけない出来事の連続で驚きに満ち溢れています。不思議なのに温かいファンタジー。読んだら猫に話しかけたいくなります。

「ニッポンの刑事たち」
小川泰平著

鋭い推理や派手なアクションで犯人を追い詰めるテレビドラマの刑事たち。でも、実際の刑事達が行っている捜査はずいぶん違うみたいです。神奈川県警の刑事だった著者が、ドラマや小説が100倍面白くなる捜査の裏話を伝えます。刑事に向いているのは「がまん強い人」だそうです



「カリカリベーコンはどうして美味しいにおいなの？」
Andy Brunning著 高橋秀依 夏莉訳

タマネギを切ると、どうして涙が出るの？ミントはどうして口のなかでスーッとするのか？食べ物や飲み物にまつわる奇妙で面白い話をとりあげ、それらのもとになる化学をわかりやすくシンプルに説明します。「歯磨き後のオレンジジュースはどうして苦いのか？」が面白かったです。

